

おおいた 働きやすくやりがいのある福祉・介護の職場 プレミアム認証制度（介護分野）

認証基準

1 定性評価

(1) 継続的な取組

現行「ふくふく認証」認証基準の全24項目において、申請年度、申請前年度、申請前々年度の3か年度で全ての基準を満たしている。

(2) 課題解決に向けた実行性のある取組

- ・新規採用者の育成や定着
- ・人材育成計画の実施
- ・処遇やワークライフバランス
- ・コミュニケーション活性化や業務改善

上記の4項目において、以下の①～④の基準を満たしている。

- ① 各項目に関する会議を開催し、具体的な課題分析に基づいて議論している。
- ② 事業所の管理監督者が会議に出席しており、議事録にてその議論の内容と、特定された課題に対する具体的な改善策が明記されている。
- ③ 議事録において、会議で決定された改善策の進捗状況が報告・評価され、必要に応じて計画の見直しが行われている。
- ④ 申請年度、申請前年度、申請前々年度で継続的に取組んでいる。

(3) PR 活動

認証法人としてふくふく認証を幅広く周知している。

以下の①～⑥の取組の中から4つ以上を実施している。

- ① 自法人のホームページや広報誌、またはそれに準ずる媒体（パンフレット、施設案内等）に、「ふくふく認証」を取得している旨と、その内容を積極的に掲載し、一般に公開している。
- ② 職員の名刺や社用車、施設内掲示物（例：入り口、受付等）に「ふくふく認証」のロゴマークを積極的に使用し、来訪者や地域住民へ周知を図っている。
- ③ 自法人のホームページから、大分県が運営する「おおいた 働きやすくやりがいのある福祉・介護の職場 認証制度（ふくふく認証）」の公式ホームページへ、直接リンクを貼っている。
- ④ 地域住民や学生、潜在的な介護職希望者などを対象とした事業所説明会、施設見学会、またはイベント等において、「ふくふく認証」の取得をアピールし、その意義について説明している。
- ⑤ 地域の広報媒体（地域情報誌、ケーブルテレビ、自治体広報誌など）や地域の集会等において、自法人が「ふくふく認証」を取得していることを積極的に情報発信している。
- ⑥ 他の福祉・介護事業者や関係団体との交流の場において、「ふくふく認証」の取得経験やそのメリットを共有し、制度の普及啓発に協力している。

2 定量評価

以下の5つの定量指標について、原則として全てを満たすこととするが、5つのうち2つは、アまたはイを満たすことでも可とする。

定量指標	基準ア	基準イ
①離職率	申請前年度の数値が 7%未満	過去3か年度の平均値が 9%未満
②時間外労働時間(月平均)	申請前年度の数値が 2時間以内	過去3か年度の平均値が 3時間以内
③年次有給休暇取得率	申請前年度の数値が 75%以上	過去3か年度の平均値が 70%以上
④育児休業取得率	申請前年度の数値が 女性:75%以上	申請前年度の数値が 男性:30%以上
⑤業務に起因した腰痛率	申請年度の新規発生件数が 0件	申請年度の数値が 20%未満

3 第三者評価の受審

申請年度、申請前年度、申請前々年度のいずれかで第三者評価を受審している。